

🌸 ベトナム政府より表彰される

2月9日、ベトナムハノイ市の文化スポーツ観光省において、表彰式がおこなわれました。主として2003年度から文化庁を中心におこなってきた、伝統集落保存への協力に対して、ベトナム国文化スポーツ観光大臣より、日本側の文化庁、奈良文化財研究所、昭和女子大学、国際協力機構（JICA）、ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）、国際交流基金が表彰されたものです。なお、集落調査の成果については、すでに『ハタイ省ドゥオンラム村集落調査報告』として刊行しているところです。

表彰式には、当研究所の田辺所長をはじめ、坂東昭和女子大学長、西村ACCU奈良事務所長、JICAおよび国際交流金のハノイ事務所長と、各機関の長が列席して盛大におこなわれました。田辺所長には、チャン・ティン・タン文化スポーツ観光副大臣より、表彰状および記念品が授与されました。所長からは、先日完成した調査報告書の英訳版を贈呈しました。

表彰式前の夕食会および当日の昼食会においては、ベトナム側の行政機関および研究機関の要職の方々や、国際協力をおこなう日本側各機関の方々との連携関係を構築することができました。

また、ベトナム側の配慮で、タンロン遺跡の見学をおこなうこともできました。

2月11日には、ベトナム中部のホイアン市において、期を同じくして訪越しておられました皇太子殿下にお会いする機会を設けていただきました。奈良文化財研究所がベトナムの文化遺産保存事業に協力しているとの紹介をベトナム政府から受け、殿下より「良いお仕事をされていますね」とねぎらいのお言葉をいただきました。

（都城発掘調査部 島田 敏男）



ハノイでの表彰式（左：副大臣，右：田辺所長）